

第3期に入り、**リーダー演習**が全ての班でスタートしました。

リーダー演習では、部員がリーダーの役割を担い、研究協議の司会や授業者への指導・助言を行います。研究協議会の司会は、次第に基づいて部員全員が協議に参加できるように配慮しながら運営を行います。また、授業者に当日の授業に関して、指導・助言を行います。

これまでのリーダーや教授の指導・助言の方法を参考にし、授業中の児童の様子を写真に撮って1時間の流れの中で授業を振り返ったり、資料を基に学習指導要領の位置付けや教材に関連する情報などを話したりしています。

リーダー演習をした部員に対してリーダーからはその方法や内容について助言をします。部員は緊張してリーダー演習に臨みます。この経験や助言は自分自身が他の教員を指導する立場になった際に生かされていきます。



11月から、2年間の成果発表である「**部員による授業公開**」を2年次の部員の所属校で実施しています。

「**主体的・対話的で深い学び**」を実現するために、単元（題材）全体を通して最終的にどんな力を身に付ければよいか、教員だけでなく児童・生徒も意識できるように授業を展開しています。

「部員による授業公開」の授業観察と研究協議に参加希望される方は、WEBページの申込書に必要事項を記入し、授業公開実施校の副校長先生に直接ファクシミリにてお申し込みください。



【リーダーの受講記録より】

分科会協議で本時の主題、授業展開、ジグソー学習等について対案を考えながら協議を深めた。自分ならばどうするかという視点で授業について協議できたので、自己の授業改善につながるものであった。特に、今回は小学校、中学校、高等学校の部員が校種の違いを越えて話し合う授業研究であったので、他校種での取組から学ぶことで大変有意義だった。
(高等学校・地理歴史・公民)

【教授より】

今回の授業研究では、小学校、中学校、高等学校のリーダー、部員が中学校の授業観察を行い、校種の違いを超えて研究協議を行った。小・中・高等学校混合で分科会を構成して協議を行い、その結果を全体会で発表したことで、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について理解が深められた。リーダー、部員の受講記録には、校種を超えて学び合うことの必要性が異口同音に述べられている。「学ぶ者こそ、教えることができる」このことを実践していると強く感じる。
(社会、地理歴史・公民、特別活動担当教授 原田 晴夫)